

自衛隊記念日レセプション・菊田大使挨拶

平成30年7月5日

ナイジェリアの友人の方々，来賓の方々，お集まりの皆様，こんばんは。

自衛隊記念日レセプションにご参集いただきありがとうございます。本会は初めて昨年行われたもの続く第2回のレセプションです。

1. 自己紹介

皆様の中で幾人かは私をご存じのことと希望しますが，多くの方は「この男は誰だ。」と不思議に思っていると思います。私は，新しい駐ナイジェリア日本国大使の菊田豊です。アフリカ大陸，そして世界全体の将来の道筋に重要な意義をもつ魅力的なこの国へ日本の代表として任じられたことに非常な名誉と喜びを感じています。

当国での滞在はこれまでのところ1か月少しでしかありませんが，日本とナイジェリアはある重要なことを共有していると感じます。それは「平和が大切だと思う気持ち」です。

2. 日本の平和と自衛隊

平和と安定，それは日本の戦後の復興の基礎でありました。ご存じの通り，日本は，前世紀，第2次世界大戦の荒廃から，目覚ましい経済的社会的復興を成し遂げました。この過程において，「平和」は発展のための正に基本的な土台でありました。日本の平和憲法，日米安全保障条約に基づくアメリカ軍のプレゼンス及び日本の自衛努力を含む種々の要素のおかげで維持された比較的平和な環境下で，日本人は国家の再構築に並々ならぬ努力を払ったのです。

自衛に関しますと，警察予備隊及び保安隊を経て，1954年7月1日に自衛隊が創設され今年で創設64周年にあたります。今夜のレセプションはこれを記念するものです。発足以来，自衛隊は日本の独立，平和及び安全保障の維持に貢献してきました。自衛隊は，また，2011年の東日本大震災のような深刻な自然災害においても重要な役割を果たしています。近年では，自衛隊は，国連平和維持活動や人道支援等，平和のための国際的な協力により積極的になってきています。

3. 日本の対ナイジェリア支援

平和と安定，それは，ナイジェリアの明るい未来の不可欠な前提となるものです。

日本は，平和愛好国として，アフリカを含む国際社会の平和と繁栄に貢献して参りました。

TICAD，アフリカ開発のための東京国際会議2016のナイロビ宣言は「共有され

た繁栄のための社会的安定の促進」を提唱しています。この目的のため、日本は、アフリカ諸国のPKOセンターを通じた能力構築支援、国連が支援するPKO要員の訓練課程、南スーダンにおけるPKO活動そしてソマリア沖及びアデン湾における海賊対処活動に総額5億米ドルを拠出しています。

日本の取り組みは、アフリカにおいて根本的な産業であり社会的安定にきわめて重要である農業分野も含んでいます。ナイジェリアにおいては、日本は、米穀の効率的な収穫後処理のための機器を提供し品質の向上につながる農業技術の向上と人間能力開発を促進しています。

日本はまた、種々の基礎的な医療施設と機器を提供することにより、ナイジェリアにおける包括的で強健な健康・医療システムの開発への支援を提供しています。

北東部の復興を見据えた平和と安定の促進は、我々とナイジェリアとの関係における優先事項の一つです。同地域の脆弱な状況にある人々に対し、能力構築のための様々な手段が国際機関を通じて提供されています。そうした国際機関の何名かの代表の方々も今夜この場にいらしています。

2013年以来、日本は6千万米ドルを超える人道支援を提供しています。

来年は、TICAD7が日本において開催されます。そこでは、約束された貢献策がどれだけ実行され、ナイジェリアを含むアフリカの利益になっているかが議論されるでしょうし、議論に基づき新たな貢献策が策定されるでしょう。しかし、平和と安全に関する措置は、TICADプロセスにおいて最優先事項の一つであり続けると言って差し支えありません。

4. 結語

お集まりの皆様、UNESCO憲章前文が宣言しているように、我々は、我々の心の中に平和を作り上げなければなりません。これを達成する唯一の方法は、人々の心と心の絆をつなぐことです。ですから、今夜の機会をあなたの周りにはいる人々との交流に活用して下さい。本格的な日本の寿司があちらのコーナーに、日本からの素晴らしいお酒が私の左手にあります。あちらで最先端の日本の製品も見ることができます。どうぞ楽しんでください。

平和と安定がナイジェリアにありますように。

ありがとうございました。